

大船渡発

恋し浜ホタテデッキ



「恋し浜ホタテ」で有名な大船渡市三陸町小石浜地区の漁師たちが三陸鉄道「恋し浜駅」近くにコミュニティスペースをオープンさせました。震災後に全国からのボランティアが数多く訪れているため、継続的な交流を図る施設として建設されたものです。今後、ホタテの販売や観光案内に加え漁師との交流を楽しむ場として活用されます。(8/1 ニュース)

「恋し浜ホタテ」で有名な大船渡市三陸町小石浜地区の漁師たちが三陸鉄道「恋し浜駅」近くにコミュニティスペースをオープンさせました。震災後に全国からのボランティアが数多く訪れているため、継続的な交流を図る施設として建設されたものです。今後、ホタテの販売や観光案内に加え漁師との交流を楽しむ場として活用されます。(8/1 ニュース)



山田発

オランダ島で海水浴

山田湾に浮かぶ無人島の「オランダ島」で津波によるガレキの撤去作業が終わりました。地元のボランティアや町の担当者ら120人が流木などのガレキの撤去を行い、海水浴ができるようになった海では、早速子供たちが海水浴を楽しみました。オランダ島を所有する町は観光復興の柱として島を活用する方針で、町と島を往復する船の運航の再開などを検討しています。



(8/2 ニュース)



田野畑発

復興現場見学会



復興の状況を間近に見てもらおうと、田野畑村で防潮堤工事などの見学会が行われました。県宮古地域振興センターが行った見学会には住民およそ20人が参加し、田野畑村明戸地区にある防潮堤工事現場や再建された机浜の番屋集落など4か所を見学しました。明戸地区では津波で高さ9メートルの防潮堤が破壊され、県は防潮堤を陸側に移して3メートル高くするとともに一部を震災遺構として保存することにしています。見学会では今年度の完成を目前にした工事の進み具合が説明され、参加者たちは復興の最前線をじっくりと見ていました。(8/4 ニュースエコー)



陸前高田発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は、陸前高田災害FMの久保暢子さんと、気仙駐在所の小笠原亘巡查部長が、7月7日に被災地としては2番目に開所した駐在所について伝えてくれました。気仙駐在所は昨年12月、新築中に原因不明の出火で全焼しましたが、すぐに再築が決まり、先月開所しました。そこに駐在するのが小笠原亘巡查部長で、飾らない人柄は地域住民に愛されています。現在は江刺から単身赴任。月に1度帰れるか帰れないかの勤務ですが、笑顔を絶やさず、地域のお巡りさんとして活躍しています。この夏は、特に暑さによる孤独死を防ぐために地道にパトロールをしているとのことでした。(8/5)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122